

次期リーダー緊急アンケート

結果報告

ワカモノマニフェスト策定委員会では、ワカモノマニフェスト策定委員会の会員に対して次期リーダーに関するネットアンケート調査を実施した。調査は2011年5月11日から実施し、5月14日までの回答分について集計・分析を行った。

【分析結果の概要】

次期リーダーにふさわしいと考える人

- 「河野太郎氏」が最も多く全体の13.4%、次いで「橋下徹氏」と「いない」が10.1%となった。以下、「大前研一氏」(8.9%)、「孫正義氏」(6.1%)、「堀江貴文氏」(5.6%)と続いている。
- 年齢が高くなるほど「河野太郎氏」「橋下徹氏」「石破茂氏」をふさわしいと考える人が多くなり、年齢が低くなるほど「大前研一氏」に対する期待が高い。また30代は「孫正義氏」に対する期待が高い。

次期リーダーの選択理由

- 次期リーダーの選択理由は、政策面やリーダーシップを重視している人が多い。
- 「河野太郎氏」「大前研一氏」「渡辺喜美氏」に対しては、選択理由として政策面をあげた回答が多い。一方、「孫正義氏」や「小沢一郎氏」に対してはリーダーシップへの期待が大きい。

次期リーダーに期待する政策

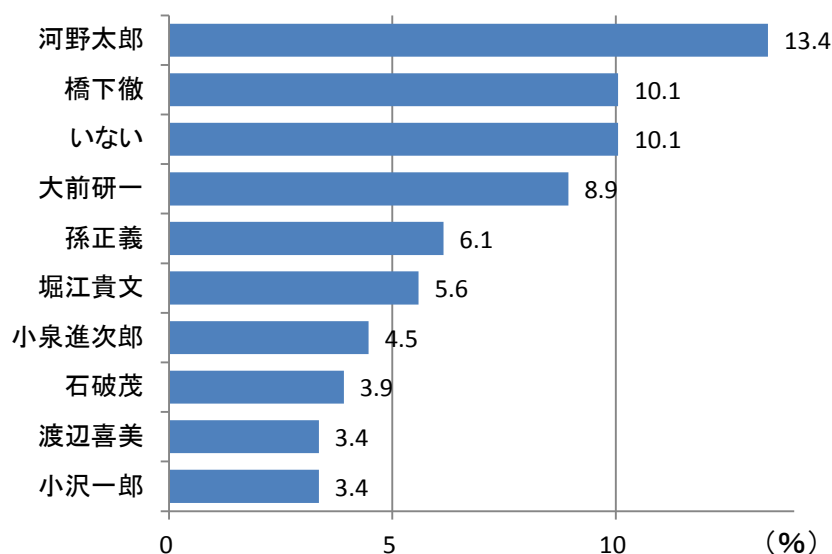
- 次期リーダーには、「労働市場の流動化」「格差の是正」「財政・社会保障の再建による世代間格差の是正」「既得権益の打破」「経済成長の実現」を期待する声が多い。これらの政策は、若年層ほど期待が大きくなっている

1. ふさわしと考える次期リーダー

(1) 全体

「次期リーダーは誰がふさわしいか」について、自由回答形式で調査したところ、「河野太郎氏」が最も多く全体の13.4%、次いで「橋下徹氏」と「いない」が10.1%となった。以下、「大前研一氏」(8.9%)、「孫正義氏」(6.1%)、「堀江貴文氏」(5.6%)と続いている。

図表 1 次期リーダーとしてふさわしい人



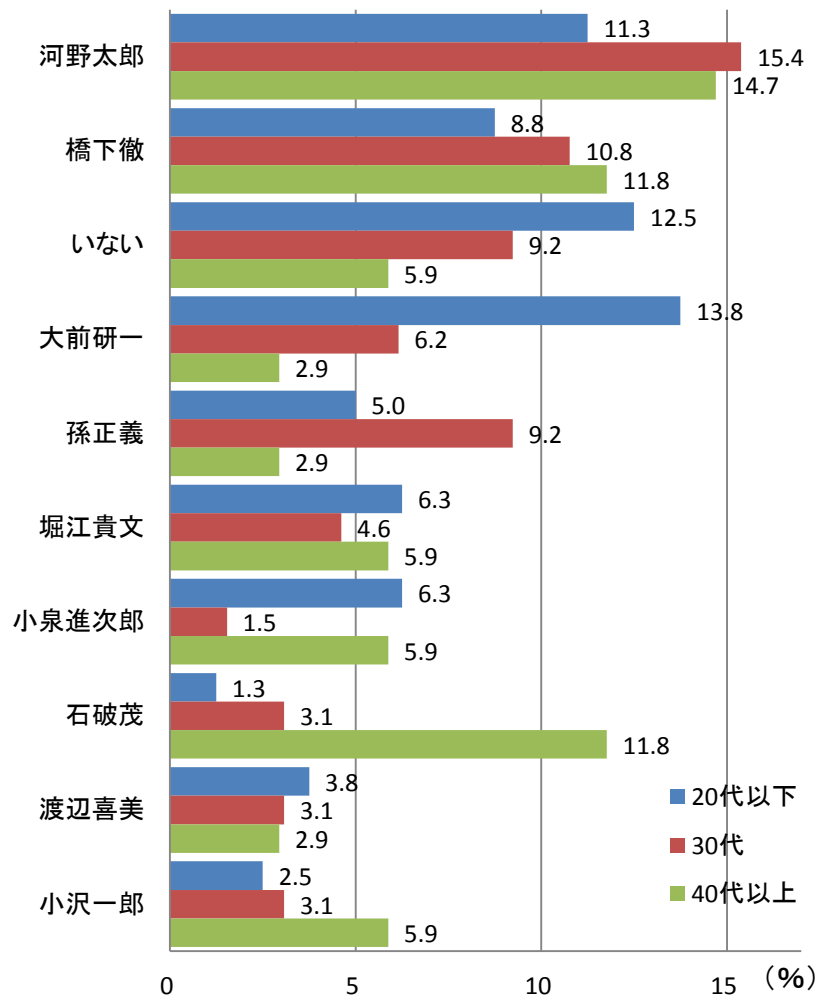
(2) 年代別

年代別にふさわしいリーダーの割合をみると、「河野太郎氏」は30代以上の層で支持割合が高くなっていることが分かる。

また「橋下徹氏」「石破茂氏」「小沢一郎氏」については、年代が高くなるほど「ふさわしい」と回答する人の割合が高まっていることが確認できる。特に「石破茂氏」は40代以上における期待が高く、40代以上に限定すると「河野太郎氏」に次いで「ふさわしい」と回答する人の割合が高い。

一方、「大前研一氏」については、若年層ほど「ふさわしい」と回答する人の割合が高く、20代以下については、全体の中で割合が最も高くなっている。また、若年層ほど「いない」と回答する割合が高くなっており、20代以下の12.5%はふさわしいリーダーが「いない」と回答している。

図表 2 年代別ふさわしい時期リーダー



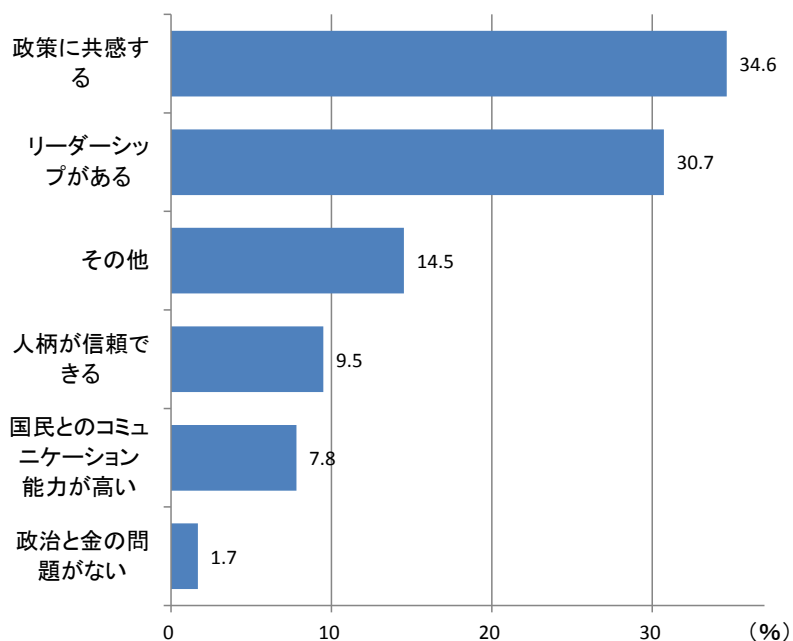
2. 次期リーダーを選んだ理由

(1) 全体

次に次期リーダーを選んだ理由を聞いたところ、「政策に共感する」が最も多く 34.6%、次いで「リーダーシップがある」の 30.7%、「その他」の 14.5%、「人柄が信頼できる」の 9.5%と続いている。

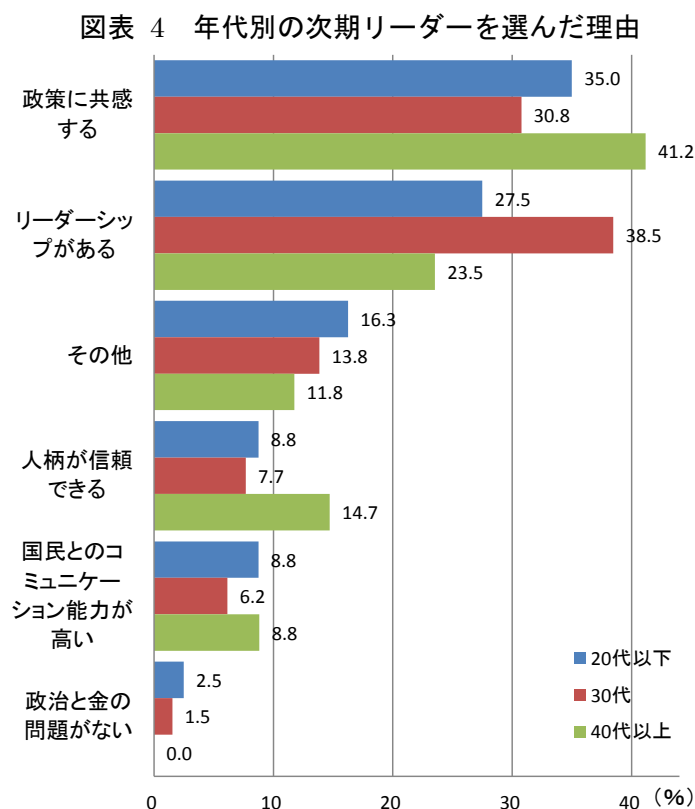
政策とリーダーシップでリーダーを選択している人が多いことがうかがえる。

図表 3 次期リーダーを選んだ理由



(2) 年代別

年代別にみると、20代以下は「国民とのコミュニケーション能力が高い」と回答した割合が多い。30代は「リーダーシップがある」という回答割合が高く、次期リーダーに強いリーダーシップを期待していることがうかがわれる。40代以上についてみると、「政策に共感する」「人柄が信頼できる」という回答が高くなっている。



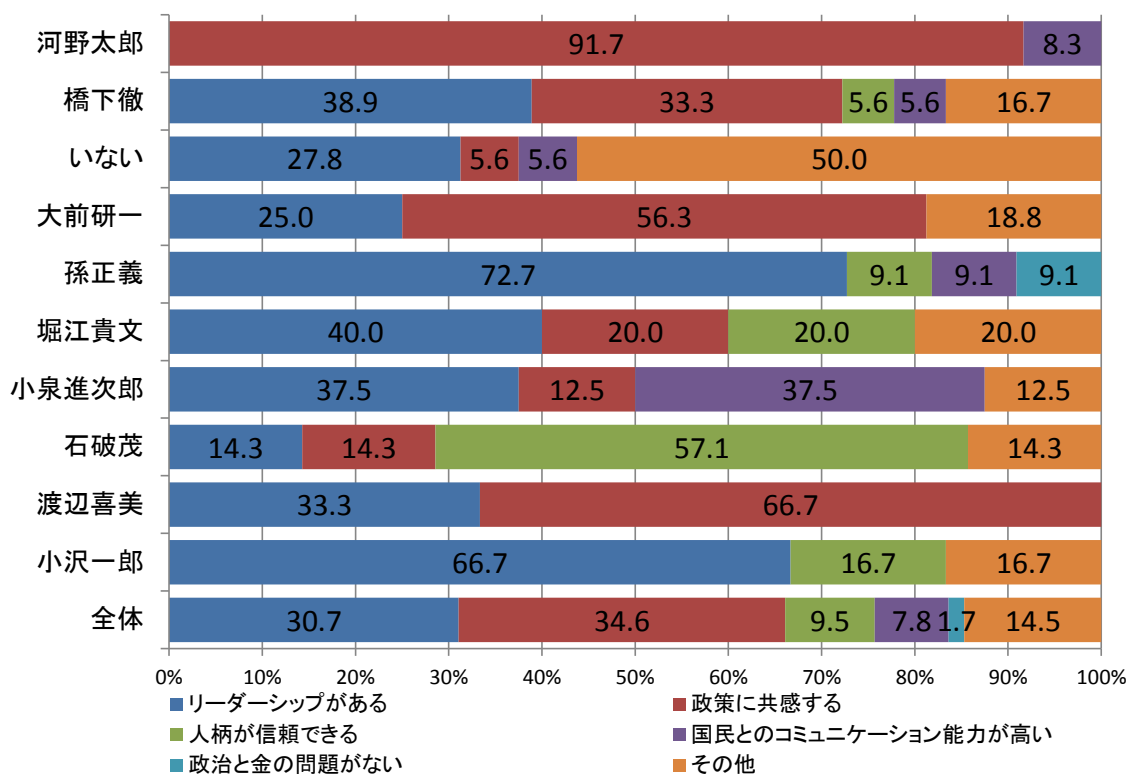
(3) ふさわしい次期リーダー別

ふさわしい次期リーダー別に選択理由をみると、「河野太郎氏」を次期リーダーにふさわしいとした人のほとんどは、「政策に共感する」という回答が圧倒的に高い。また、「大前研一氏」「渡辺善美氏」を選んだ人も、政策面での期待が大きいことがうかがわれる。

「橋下徹氏」を選んだ人の理由をみると、「リーダーシップがある」「政策に共感する」と答えた人の割合が高くなっている。

「孫正義氏」「小沢一郎氏」を次期リーダーに選んだ理由についてみると、「リーダーシップがある」が多くなっている。また「石破茂氏」を選んだ人の半分以上は「人柄が信頼できる」をその選択理由としている。

図表 5 ふさわしい次期リーダー別の選択理由



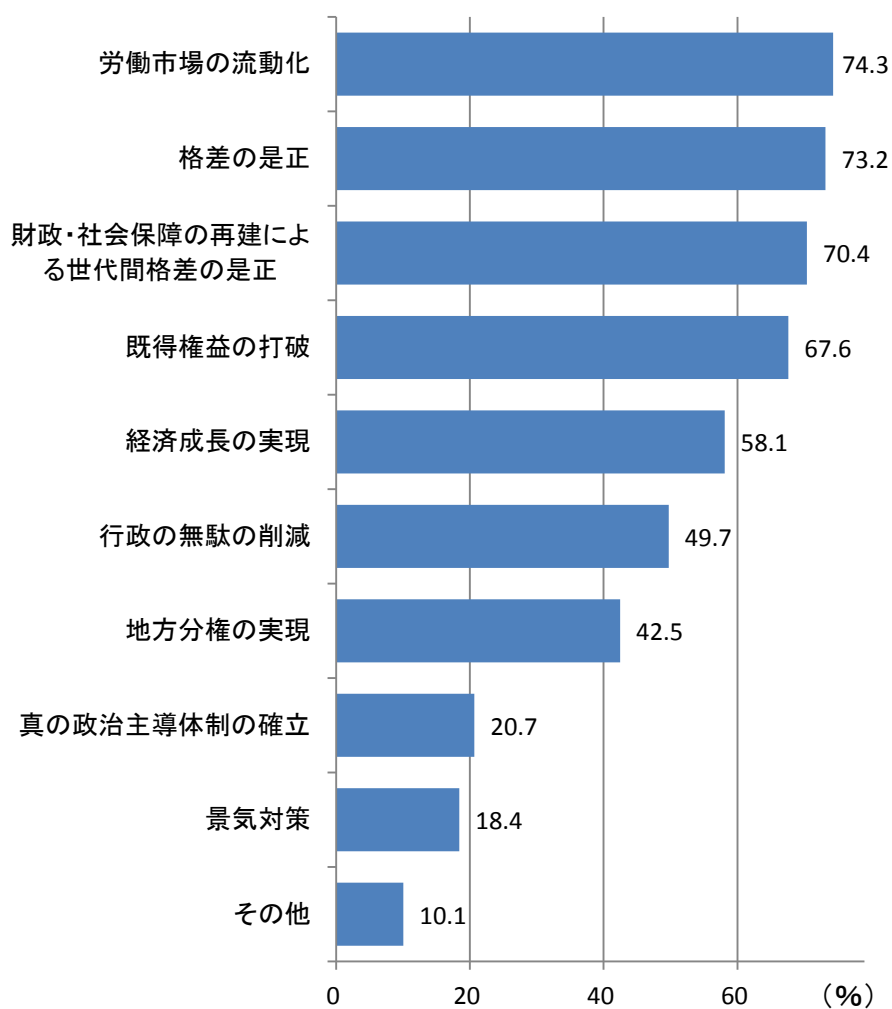
3. 次期リーダーに期待する政策

(1) 全体

次期リーダーに期待する政策を複数回答で聞いたところ、「労働市場の流動化」が最も多く74.3%、次いで「格差の是正」の73.2%、「財政・社会保障の再建による世代間格差の是正」の70.4%、「既得権益の打破」の67.6%、「経済成長の実現」の58.1%と続いている。

一方で、「景気対策」や「真の政治主導体制の確立」を期待する声は非常に少なくなっている。

図表 6 次期リーダーに期待する政策（複数回答）

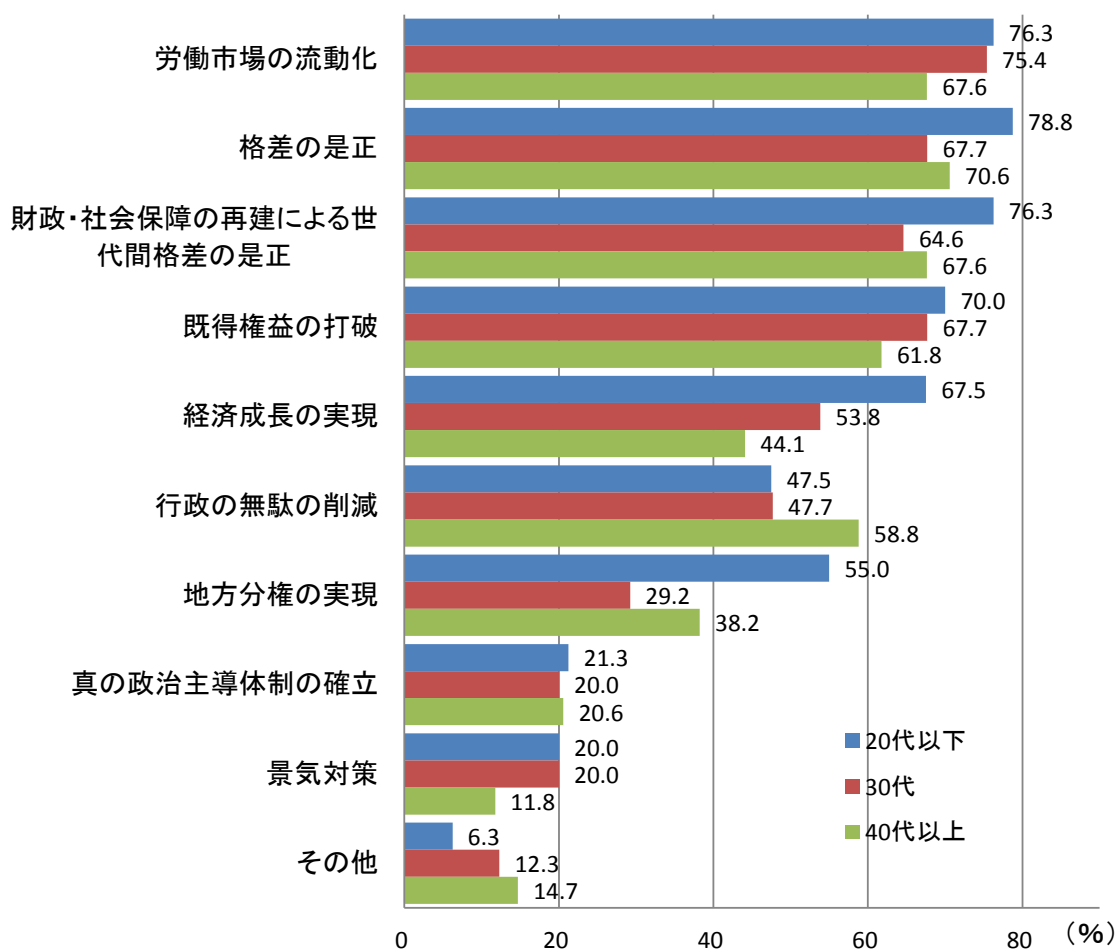


(2) 年代別

回答者の年代別に次期リーダーに期待する政策をみると、20代以下は「労働市場の流動化」「格差の是正」「財政・社会保障の再建による世代間格差の是正」「既得権の打破」「経済成長の実現」「地方分権の実現」といった政策に対する期待が大きい。

一方40代以上については、「行政の無駄の削減」に対する期待が大きい。

図表 7 年代別の次期リーダーに期待する政策（複数回答）



(3) ふさわしい次期リーダー別

ふさわしい次期リーダー別に期待する政策をみると、「河野太郎氏」に期待する人は、政策全般について大きな期待を寄せていることが確認できる。

「橋下徹氏」に期待する人も、多くの政策に期待を寄せているが、特に「地方分権の実現」については、全体の結果よりもかなり高い割合となっている。また「大前研一氏」に期待する人の多くも「地方分権の実現」を望んでいるが、それに加えて「経済成長の実現」も非常に高い割合となっている。

図表 8 ふさわしい次期リーダー別の期待する政策（複数回答、%）

	経済成長 の実現	財政・社 会保障の 再建によ る世代間 格差の是 正	労働市場 の流動化	行政の無 駄の削減	地方分権 の実現	真の政治 主導体制 の確立	景気対策	格差の是 正	既得権益 の打破	その他
河野太郎	54.2	83.3	79.2	54.2	37.5	20.8	20.8	87.5	79.2	8.3
橋下徹	38.9	72.2	83.3	50.0	66.7	22.2	5.6	72.2	72.2	5.6
いない	61.1	66.7	50.0	33.3	27.8	5.6	22.2	66.7	38.9	16.7
大前研一	87.5	56.3	75.0	43.8	81.3	12.5	0.0	56.3	62.5	0.0
孫正義	54.5	72.7	90.9	45.5	45.5	9.1	27.3	72.7	81.8	9.1
堀江貴文	50.0	50.0	80.0	40.0	30.0	20.0	10.0	50.0	70.0	10.0
小泉進次郎	75.0	75.0	100.0	87.5	50.0	37.5	37.5	75.0	100.0	12.5
石破茂	57.1	71.4	42.9	71.4	14.3	14.3	14.3	71.4	57.1	28.6
渡辺喜美	66.7	100.0	83.3	33.3	66.7	16.7	0.0	100.0	66.7	0.0
小沢一郎	33.3	83.3	83.3	50.0	16.7	66.7	50.0	83.3	83.3	16.7
全体	58.1	70.4	74.3	49.7	42.5	20.7	18.4	73.2	67.6	10.1

（注）赤字は各候補者のうち、期待する上位3政策を表す。

参考：調査の概要

このアンケート調査は、ワカモノマニフェスト策定委員会のホームページ (<http://www.youthpolicy.jp/>) に登録している会員に対して実施した。

調査は2011年5月11日から実施し、5月14日までの179人の回答について集計・分析を行った。サンプルの年代別・性別内訳は以下のとおりであるが、無作為抽出に基づく厳密な統計調査ではないため、調査結果の利用について留意をされたい。

	男性	女性	不明	総計
20歳未満	2			2
20代前半	32			32
20代後半	42	3	1	46
30代前半	32	2	1	35
30代後半	25	5		30
40代以上	31	3		34
総計	164	13	2	179